



成人式(8月15日)

このコーナーでは、市内各地で行われたイベントや市民の活動をご紹介します。皆さんの身近で行われる楽しい催しなどありましたら、市役所総務課広報広聴係(☎43-7025)までお知らせください。

奈良市の薬師寺に本部を置く「お香の会」が主催する親子香道教室が、中央公民館で行いました。子どもたちに日本文化である香道に親しんでもらあうと全国各地で開催されていて、秋田県では初めての開催。午前と午後の回に約50人が参加しました。

作法や説明を聞いた後、香りを当てる「貝合香」と呼ばれる競技を行い、参加者は真剣な表情で繊細な香りを楽しんでいました。

夏休み親子トンボ教室が市民の森トンボ公園で開かれ、親子約40人が珍しいトンボなどを観察しました。

教室は、大館自然の会が主催するもので今年で16回目。今年は珍しいアオヤンマを発見した参加者もいて、たくさんのトンボが生息する園内16面の池の周りでは、虫捕り網を手に一生懸命トンボを追い掛ける子どもたちの姿が見られました。



8月9日に発生した豪雨災害で被災した市民の方たの支援に役立ててほしいとの



市民文化会館で、ピアノの名器「スタインウェイ」の音色に触れるピアノマラソンが開催されました。

このピアノマラソンは、世界3大ピアノの一つとされる名器を市民に公開して、一流ピアノと同じ感覚を味わってもらうことを目的としました。

3大ピアノの一つとされる名器を市民に公開して、一流ピアノと同じ感覚を味わってもらうことを目的としました。



親子トンボ教室 (8月3日)

奈良市の薬師寺に本部を置く「お香の会」が主催する親子香道教室が、中央公民館で行いました。子どもたちに日本文化である香道に親しんでもらあうと全国各地で開催されていて、秋田県では初めての開催。午前と午後の回に約50人が参加しました。

作法や説明を聞いた後、香りを当てる「貝合香」と呼ばれる競技を行い、参加者は真剣な表情で繊細な香りを楽しんでいました。



寄付贈呈 (8月16日)

扇田地区の七夕伝行事「山「フチソチコ」」が行われました。山車(絵灯ろう)が連なつている様子がその名の由来と言われるこの行事は、江戸末期ごろが起源とされ、一時途絶えたものの昭和48年に再開し、今回で41回目。

今年は「ふるさと扇田」をテーマに各町内会や子どもも会で製作した14基の山車が町内を練り歩き「山「フチソチコ」ヨーヨーヨーイ……」と、元気な掛け声が響きました。



ピアノマラソン (8月4日)

親子香道教室 (8月3日)

山「フチソチコ」 (8月4日)